

コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2023年10月19日

BMJ:

ロングコロナ研究者らは、ボリス・ジョンソン前首相の「トンデモ発言」に激怒

【松崎雑感】

見出しの「bollocks」とは「くだらないこと、ばかげたこと、ナンセンス」という意味。2020年に専門家が詐病でないと判断した「ロングコロナ」に対して、当時のイギリス首相が「詐病に過ぎない」と発言したメモが公開されました。

専門家のアドバイスをまともに考慮しない人物が政治を左右することがいかに危険であるかは、アメリカの前大統領の様々な所業が証明しています。

ロングコロナ研究者らは、ボリス・ジョンソン前首相の「ふざけた発言」に激怒

Mahase E. Long covid: Researchers "extremely angry" at Boris Johnson's "bollocks" comment. *BMJ*. 2023;383:p2406. Published 2023 Oct 17. doi:10.1136/bmj.p2406

パンデミック当初からロングコロナを研究してきた専門家らが政府との交渉の場で、ボリスジョンソン首相（当時）が、ロングコロナを「くだらないたわごと」と指摘したことに落胆と怒りを表明した。

10月13日のイギリスロングコロナ対策点検作業の場で、研究者らに、2020年10月にジョンソン氏のロングコロナに関する報告書の検討メモが公表された。

そのメモでジョンソン氏は、ロングコロナのことを「くだらないたわごとだ。湾岸戦争症候群の焼き直しだ（1991年の湾岸戦争に従軍したアメリカ軍・イギリス軍等の多国籍軍兵士に、集団的に発生したとされる脱毛症・疲労感・痛み・記憶障害・倦怠感や関節痛などの一連の病状を総称したものである。詐病と非難された歴史がある：松崎）」と発言していた。

2021年2月、ジョンソン氏はSNSで「ロングコロナ何て病気があるものか！湾岸戦争症候群という詐病に過ぎない」と発信していた。

入院患者におけるロングコロナの研究Post-Hospitalisation Covid (Phosp-Covid) studyを率いているクリス・ブライティング氏とレイチェル・エバンス氏は、ジョンソン氏のメッセージがどれだけ当時の政府のロングコロナ対策に悪影響を与えたかと落胆と怒りを隠さなかった。

ライセスター大学呼吸器内科教授ブライティング氏は、このメモが、ロングコロナ患者とその専門家と政府当局との会合の時期に作成されたと指摘した。

この公開の会合では、政府関係者が、ロングコロナ患者と対面していた。そこにロングコロナ患者がいなくても思っていたのだろうか？と彼は語った。

ブライティング氏は、ジョンソン氏が、当時少なくとも数か月にわたり、ロングコロナと言う病気が存在するはずがない、あるいは、無視しても良い類の詐病だと思っていたことになると語った。

「この認識のために、政府の対策がどれほど影響を受けたか計り知れない。首相の意を他の政府関係者が無視するはずはないだろう」と語った。

ライセスター大学呼吸器内科准教授で名誉コンサルタントのエバンズ氏も、「とてもショックで、失望した。ロングコロナと言う病気があると思わない医師もいるが、首相がそのような考えであることを、ロングコロナで苦しんでいる人々が知ったなら、どんなに落胆するだろうか」と語った。

エバンズ氏は、このメモが作られた時、専門家らは、発病メカニズムは不明だが、ロングコロナと言う病気があることは科学的に間違いないと断言できるという見解を出していたと語った。

ロングコロナ、あるいは新型コロナ後遺症候群は、多彩な症状を呈する。倦怠感、動悸、関節痛、呼吸困難などが4週間以上続く。国立統計局はイギリスで190万人のロングコロナ患者が存在すると推定している。

以前本誌には、ロングコロナを発症した医師たちが、就労できなくなり、子どもとも遊べなくなり、家を手放さなければならなくなったという状況が報告されている。